



一関遊水地事業50年の集い



**令和4年
9月27日(火) 13:30~16:40**
一関文化センター 中ホール

◆ 同時開催
入場料ですが、事前申込みが必要です。聴講希望者は事務局までお問合せ下さい。また、一関文化センター駐車場は限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用するか、徒歩の市営駐車場をご利用下さい。

◆ 基調講演
『北上川の治水に於ける五大ダムと一関遊水地』
講師：岩手大学名誉教授 平山 健一氏

◆ パネルディスカッション
『地域を守る一関遊水地への期待と展望』
1. 北上川の治水と治水の意義 2. 遊水地に関わる思いと想 3. 遊水地への期待と展望

◆ 講演者
平山 健一氏 (岩手大学名誉教授) / 岩手県建設部長 藤田 隆之氏 / 岩手県国土建設部長 藤田 隆之氏 / 岩手県国土建設部長 藤田 隆之氏 / 岩手県国土建設部長 藤田 隆之氏 / 岩手県国土建設部長 藤田 隆之氏

一関遊水地は、昭和47年（1972年）に事業着手し、令和4年（2022年）で50年を迎えようとしています。流域の防災、治水に対する危機感、インフラの整備、水害経験者の高齢化などにより、増れゆく関心にあります。
しかしながら、近年、気候変動による集中豪雨や台風の大規模化など、今までにない水害の形が急増しています。
今回、竣工から50年という節目を迎えるにあたり、水害への備えの再認識、水害時の治水の働きをあらためて知って頂く機会と考え、一関遊水地に関わった方々や地域の皆様に向けて開催するものです。

お問い合わせ先：岩手河川国道事務所 調査第一課
TEL.019-624-3166 (平日 8:30~17:15受付)

9月27日(火)に一関文化センター中ホールにて「一関遊水地事業50年の集い」を開催いたします。

事業着手から今年で50年の節目を迎えるにあたり、水害への再認識や一関遊水地の働きを改めて知って頂く機会になります。

当日は、岩手大学名誉教授の平山氏をはじめ、6名のパネリストの講演のほか、災害パネル展も同会場で開催致します。

入場無料で参加できますのでぜひお越しください。

その他詳細については下記連絡先までお問合せ願います。

※聴講は無料ですが、事前申込が必要です。
また来場の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力願います。

開催日時：令和4年9月27日(火) 13:30~16:40

開催場所：一関文化センター中ホール

※駐車場に限りがあります。できる限り公共交通機関、もしくは周辺の市営駐車場をご利用願います。

**事務局：岩手河川国道事務所 調査第一課
TEL.019-624-3166 (平日 8:30~17:15受付)**



そもそも「一関遊水地」ってなんの施設？



「遊水地」とは、洪水のときに一時的に水をためて下流に流れる水の量を減らすためのものです。普段は水田などに利用していて、洪水のときだけ水がたまるしくみになっています。

一関遊水地は沿川地域の生命と財産を洪水から守るため、昭和47年に事業着手を開始しました。

一関遊水地には、①洪水調節、②市街地への水害防止、③中小洪水の遊水地内への氾濫防止の3つの目的があります。

施設面積は約1,450ヘクタールとなり、これは全国の遊水地の中でも3番目の大きさとなります。(平成28年12月調べ)



※バックナンバーはこちら http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/syuttoujiyo/itinoseki/2022/2022_ichinoseki.htm